



MESSAGE NOTES

関係の修復

コリント人への手紙 第二 7:9-10

ロイド・フラハティ

1. 悔い改めと人や神様との関係

コリント人への手紙 第二 7:9-10 今は喜んでいます。あなたがたが悲しんだからではなく、悲しんで悔い改めたからです。あなたがたは神のみこころに添って悲しんだので、私たちから何の害も受けなかったのです。神のみこころに添った悲しみは、後悔のない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。

神のみこころに添った悲しみは、救いに至る悔い改めを生じさせます。

- ・悔い改めとは罪そのものに対して悔い改めるだけでなく、罪によってダメージを与えた人や神様との関係性に対しても悔い改めるものです。

2. 赦し

ヨハネの手紙 第一 1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

- ・赦しを請うことは謙遜のあらわれです。
- ・神様はすぐに赦してくださいます。
- ・人との信頼関係は一瞬にして失われることがあります。再び築き上げるには時間がかかります。

3. 関係の修復 : 正しい道に向き直る

ルカの福音書 19:8 しかし、ザアカイは立ち上がり、主に言った。「主よ、ご覧ください。私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれかから脅し取った物があれば、四倍にして返します。」

- ・誰かの持ち物や評判、心を傷つけてしまった場合、それを正すことが重要です。
- ・関係の修復のプロセスが完了し、人や神様との関係が再び築かれていきます。
- ・イエス様が来られたのは、私たちがいのちを得るためであり、別離や死をもたらすためではありません。

別離から関係修復へのステップ

罪→別離→後悔→悔い改め→赦し→修復→人間や神様との関係の再構築へ

まとめ

後悔は悔い改めにつながるのか？それとも心を頑なにしてしまうのでしょうか？

ヘブル人への手紙 3:7-8 「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。」

後悔は、起こったことを悪く思っていること

悔い改めとは、罪から離れ、神様の方向へ心の向きを変えること

注：別離から関係修復への近道はありません